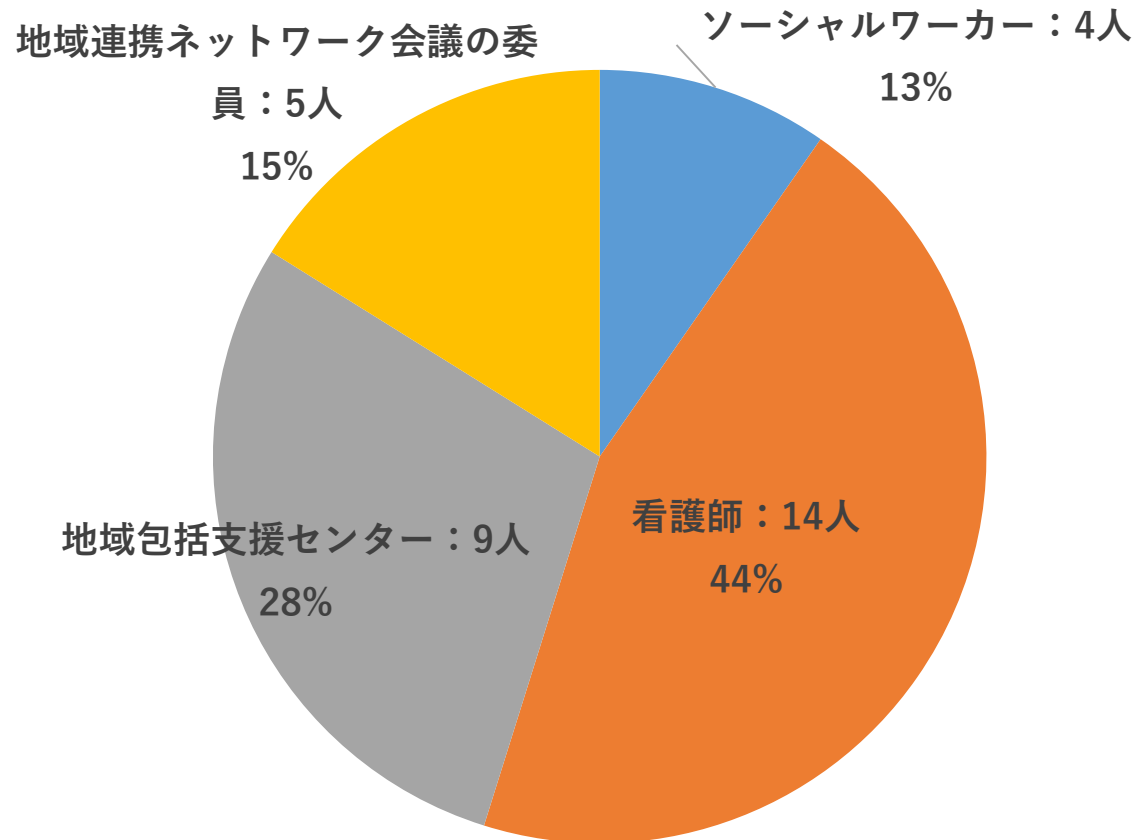


令和5年度 医療従事者向け権利擁護研修会 アンケート集計結果

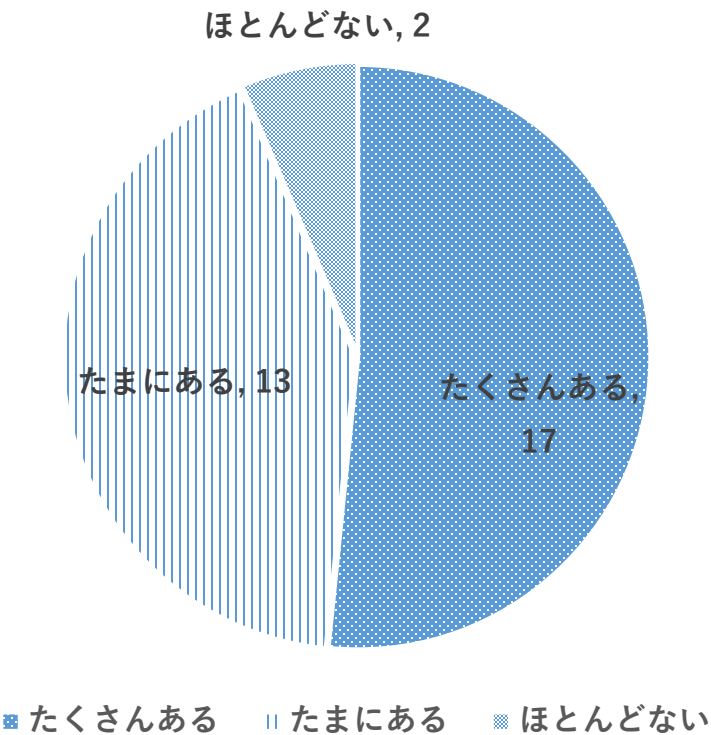
令和6年2月29日（木）18：00-19：45

Q1 参加者の職種



Q2 普段の業務の中で権利擁護が必要な方と接する機会について

接する機会



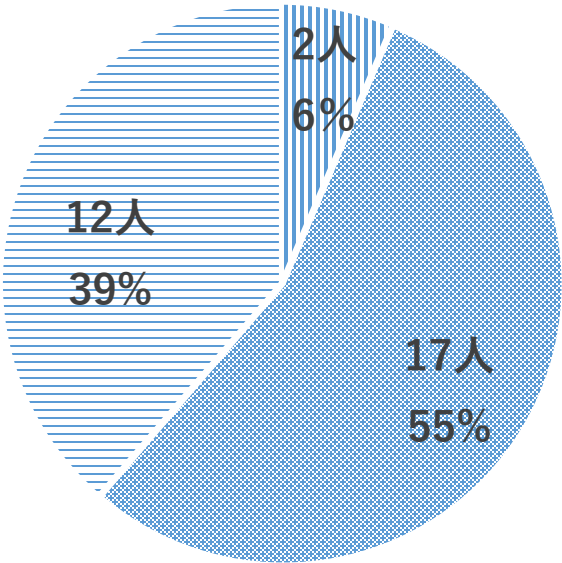
全体の割合	たくさんある 50%	たまにある 44%	ほとんどない 6%
看護師の割合	たくさんある 43%	たまにある 43%	ほとんどない 14%
ソーシャルワーカーの割合	たくさんある 25%	たまにある 75%	
地域連携ネットワーク会議委員の割合	たくさんある 60%	たまにある 40%	
地域包括支援センターの割合	たくさんある 66.6%	たまにある 33.3%	

自由記述

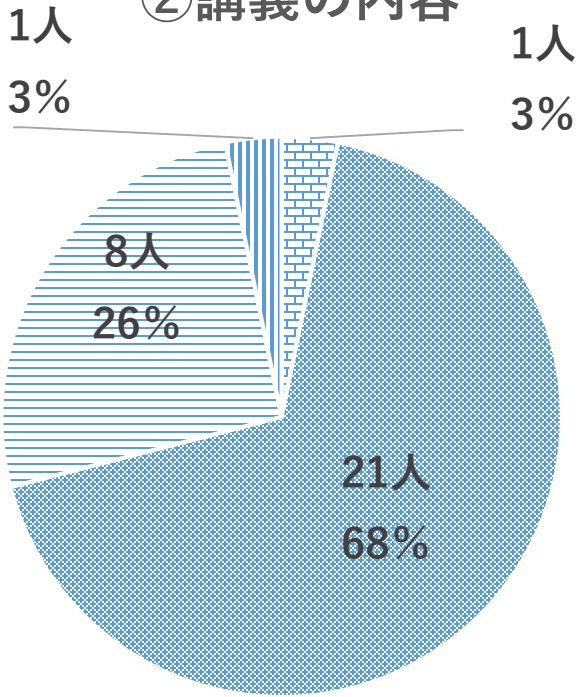
- ・親の年金頼りで生活
- ・身寄りのない（身内の生存不明）の方
- ・生活保護者が急病で運ばれて重体になった手続き等に面倒になったケース。50歳過ぎの障害者男性二人の兄弟の財産管理ができない様子があるが本人は気付いていない
- ・認知症の方で御家族との縁が薄い方。借金問題。
- ・医療行為における同意書等
- ・家族のかかわりが希薄だとすぐ後見制度に飛びつく傾向があり、改めて本人がどうしたいか確認する必要があると思いました。
- ・外来勤務をしており、一人暮らしの高齢者が多いことを実感する。
- ・緊急連絡先になる人がいない → 施設入所をふわっと断られる（いつまでも満床と言われる）。入院の時も誰かついてきてといわれる。
- ・金銭管理をしています。
- ・血縁関係者のいない90代の女性。独居で元気に生活していたが転倒し入院したケース。民生委員の方が窓口になっていただいた。
- ・高齢者虐待（疑いも含めて）、財産管理、消費者被害、認知症の方など
- ・障害者の方への後見人
- ・身寄りのない方、本人、その他の家族がいた場合も総員意思決定が難しいと思われる場合。
- ・身内に緊急連絡先が無い。入院保証人を身内に断られる。全身麻酔の手術の時に待機できる人がいない。
- ・専門職後見人として、日々後見業務にあたっている。ほぼ身上保護が多いです。
- ・独居、障害、高齢だけの世帯等
- ・独居の人。家族と疎遠。
- ・入院時、退院時に特に！
- ・認知機能が低下して財産管理ができない。
- ・認知症などで判断力不十分と思われるが、見守りが無く意思決定支援などが難しいケース。
- ・認知症の方
- ・認知能力が低下している人。家族が金銭の搾取しているように見える人。

Q3 今回の研修について

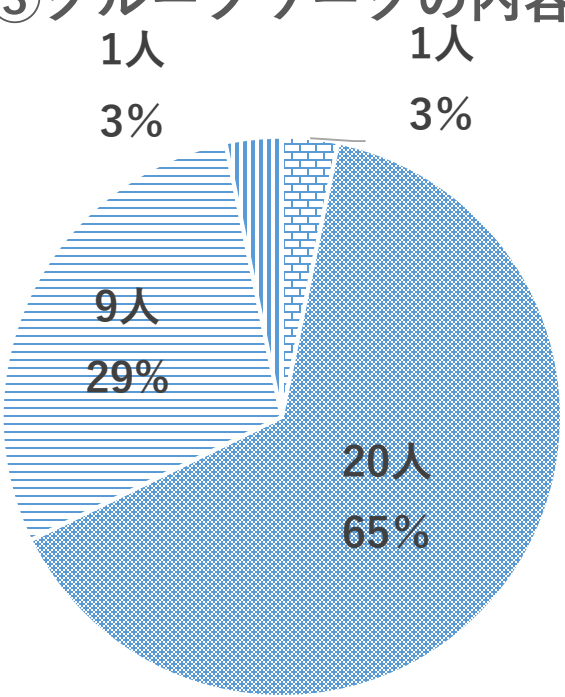
①報告の内容



②講義の内容



③グループワークの内容



▮ どちらとも言えない ▩ とても参考になった - 参考になった ▮ どちらとも言えない ▩ とても参考になった - 参考になった ▮ (空白) ▮ どちらとも言えない ▩ とても参考になった - 参考になった ▮ (空白)

Q4 研修会の感想や疑問、ご意見、今後の研修で希望することなどをお聞かせください。

- ・時間が足りなかった。でも良い研修会でした。
- ・多く見られる事例をいくつかあげて、それらに対する対応の研修会があれば効果的かと思う。・本日の研修も役立った。
- ・グループワークで色々な意見が聞けて自分の力になりました。参加して良かったです。
- ・グループワークの時間がもう少し欲しかったです。
- ・グループワークを通して率直な意見を聞くことができ、こちらとも思いを話すことができて楽しかったです。またこのような機会があると良いと思います。
- ・とても勉強になりました。
- ・とても勉強になりました。参考になりました。楽しい研修でした。
- ・医療職の病棟の方のお話やホットな事例を聞いて良かった。
- ・一人ひとりがしっかりと意見を持っていて、楽しいグループワークでした。
- ・看護師さん含む研修、グループワークはいつもと違う視点の意見があり勉強になりました。
- ・後見人の役割についてリアルな声を聞くことができて良かった。看護師の方と話す機会がなかなかないので、実際に悩んでいることも知れて良かったです。
- ・今後も司法の方が一緒に研修していただけるのはありがたいことだと思います。
- ・在宅の方や他職種の方と話し合える良い機会でした。
- ・参加してよかった。様々な意見を知ることができた。まだまだこれからできることがあるのだなと思いました。
- ・初めての方々とも話ができ、次回が楽しみ。
- ・色々な意見を聞くことができ勉強になりました。